



Open SDV initiative MIH/FOXCONN 調査報告

2025.9.8

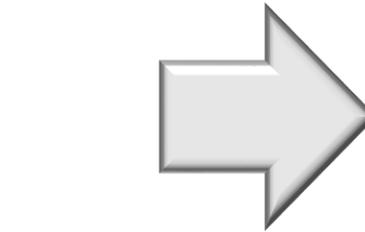
パイオニア 経営戦略本部 渉外推進部 佐藤、細井

1.MIH状況

【2020/10】



- ・2020年10月発足
- ・メンバーは2,600社超、日本企業も多数参画
- ・14のWGがMIH内で活動
- ・2023年10月JMSでプロトタイプを初披露
- ・標準仕様をリリース [2024/6,7,8]
 - MIH Recommended Powertrain Standard Ver. 1.0
 - MIH Recommended Smart Cabin API Standard V1.0
 - MIH Recommended Standard - SDV Classification Ver 1.0



2024年9月以降、実質活動休止

- ①TOP含めた大規模体制変更
- ②MIH活動刈り取りの加速
(事業化：次ページ)

昨年12月
全体会議
で発表

【2025/8/8】



- ・2025年8月8日 **鴻海公式プレスリリース**で、コンセプトの再構築と共にMIHの新しいロゴを発表
- ・同日、従来のMIHページが大幅に変更され、過去のWGの活動内容など、削除されている状況。
(現時点ではNews項目のみが掲載)
- ・**新MIHの活動内容詳細については、鋭意調査中**
- ・**昨今のFOXCONN発信で「MIH」がプラットフォーム事業において重要な位置づけと説明**

なぜここまで注目され、参画企業が多いか、標準化をどう活用しようとしているか（次頁）

2. MIH標準化～事業展開



2600社を超える部品・セット・ソフト・サービスメーカーが参画

【各社狙い】

リファレンスモデルに採用された部品、ハード、ソフト、サービスは展開される量産車両でも標準搭載される可能性が高い

特定OEM・車種ではなく、従来OEM・新規EVメーカー車両に展開される

☞高い事業ポテンシャル

プラットフォーム
(車両リファレンスモデル)



事業化

FOXCONN事業はプラットフォームからの受託設計・製造サービス (CDMS)
☞カーメーカーになるのではなく、リファレンスモデルを準備し、各メーカーが短期機関で投資少なく量産・販売する際の製造・サービスを手掛ける

レファレンスモデルを用意することで、自動車メーカーだけでなく、自動車業界以外からもEV参入を後押ししてスケールメリットの創出を図る狙い



今回MIHから展開されるリファレンスモデルである「Model_A」は、コンシューマー向け、物流向け、事業者向けの車両展開を計画
展開国は日本、台湾、タイから開始
(車両メーカーは不明)

発表なし（参考）FOXCONN実績例

FOXTRON（FOXCONNグループ会社）がリファレンス車両開発

<https://www.foxtronev.com/en/index>

7人乗りSUV



5人乗りクロスオーバーSUV



ミニバン



バス



マイクロバス



各社が量産開発



24年初頭投入済（LUXGENn7）
4月台湾EV市場で販売首位を獲得



三菱自動車が
オセアニア向けに採用予定

27年後半に米国市場
導入予定

22年投入済 初の量産車
台北・高雄の路線バスに導入
27年に日本投入予定

三菱ふそうトラック・バスがZEV
（ゼロエミッション車両）バスに
おける戦略的協業を発表

E.O.F